

防災情報の提供・周知

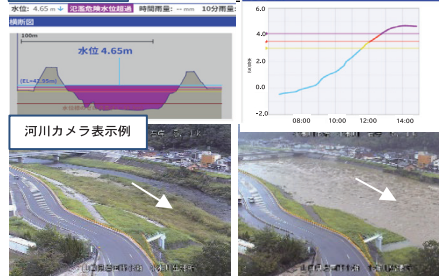
■川の防災情報

太田川・小瀬川を含む全国の雨量や河川水位の情報、河川に設置しているカメラの画像などをリアルタイムで確認することができます。



【確認できる主な情報】

- ・水位、ライブカメラなど川の状況
- ・雨量など雨の状況
- ・洪水予報など行政からの発表情報 など



普段の様子

洪水時の様子

■洪水浸水想定区域図

太田川、小瀬川の洪水浸水想定区域図を公表しています。



緊急対応事例

【事前の対応事例】

平成16年8月の台風16号の際に事前に高潮潮位を予測し、堤防の低い箇所に緊急に積み土のうを設置するなどの対応を実施しました。これにより、約67haの浸水被害を未然に防止しました。

【事後の対応事例】

平成30年7月豪雨により、太田川、根谷川及び三篠川で堤防欠損、護岸損壊が発生しましたが、二次被害を防止するため、応急復旧を被災後約1週間で完了し、その後本復旧を行いました。



事前に潮位を予測し、土のうを設置



土のうを設置しなかった場合、上記着色範囲約67haが浸水していたと想定されます。



被災状況



応急復旧状況



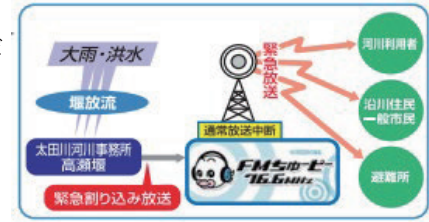
本復旧状況

■FMラジオ(76.6MHz)

高瀬堰からゲート放流を行う時などは、より多くの人々に放流状況を知らせるため、「コミュニティFM」を利用した情報提供を行っています。

■コミュニティFM受信エリア

広島市中区、東区、西区、南区、安佐南区など



■放流警報用設備

放流警報用設備は、ダム・堰等の放流開始や河川水位の上昇を河川利用者等に周知するため、災害時には高瀬堰、祇園水門、大芝水門のスピーカー及びサイレン、情報掲示板にて災害情報を周知しています。また、放流警報用設備は広島市に開放し、市が発表する避難指示等の災害情報を住民に届けやすくするために活用されています。



水防災タイムラインの整備

タイムラインとは、災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して災害時に発生する状況をあらかじめ想定し共有した上で、「いつ」「だれが」「何をするのか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した防災行動計画です。

太田川・小瀬川では、洪水・高潮・内水・土砂災害を対象としたマルチハザードへの対応を想定し、関係機関の連携を強化する取り組みを推進しています。

